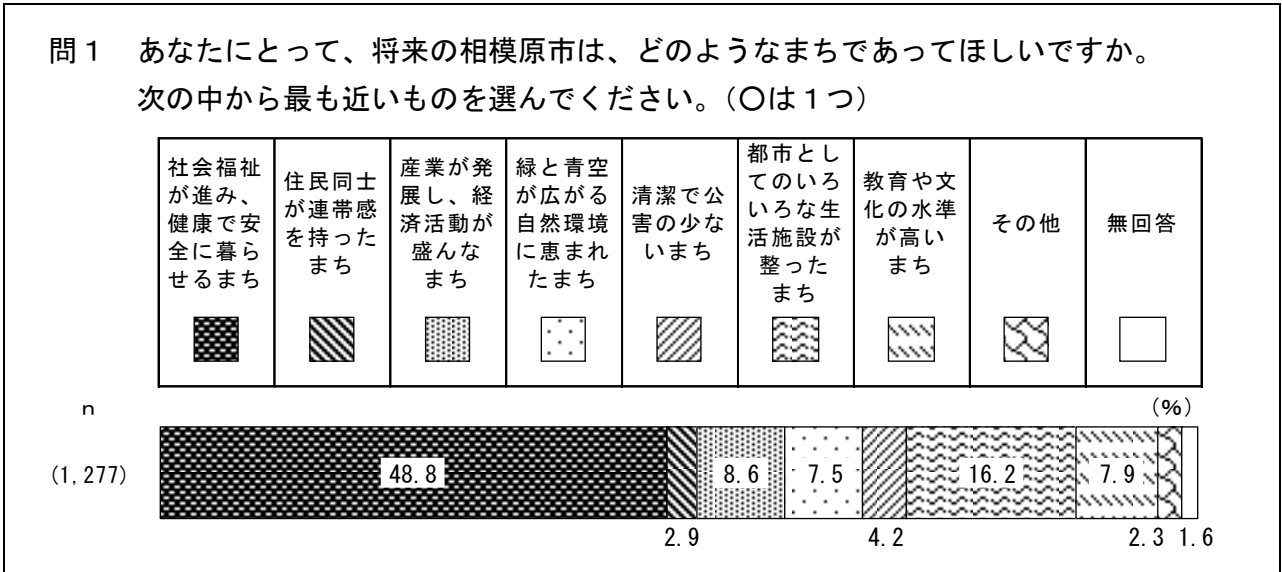


Ⅲ 調査結果

1 まちづくりについて

(1) 市の将来像



将来の相模原市はどのようなまちであってほしいかたずねたところ、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」(48.8%)が5割近くで最も高く、次いで、「都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち」(16.2%)、「産業が発展し、経済活動が盛んなまち」(8.6%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、平成23年度から令和2年度までの調査では全ての順位で変動がなかったが、今回の調査ではそれまで3位の「緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち」が5位となり、他に、4位の「産業が発展し、経済活動が盛んなまち」が3位、5位の「教育や文化の水準が高いまち」が4位となっている。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
令和5年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (48.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (16.2)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (8.6)	教育や文化の水準が高いまち (7.9)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (7.5)	清潔で公害の少ないまち (4.2)	住民同士が連帯感を持ったまち (2.9)
令和2年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (48.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (15.7)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.4)	教育や文化の水準が高いまち (7.0)	清潔で公害の少ないまち (4.4)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.3)
平成29年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (51.7)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (13.4)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.1)	教育や文化の水準が高いまち (5.6)	清潔で公害の少ないまち (4.6)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.5)
平成26年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (53.4)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (11.6)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (10.5)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.0)	教育や文化の水準が高いまち (5.2)	清潔で公害の少ないまち (4.6)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.4)
平成23年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (49.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (12.1)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (11.8)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (7.7)	教育や文化の水準が高いまち (5.4)	清潔で公害の少ないまち (4.8)	住民同士が連帯感を持ったまち (3.5)
平成20年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (59.1)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (14.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (7.3)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (4.3)	教育や文化の水準が高いまち (3.8)	清潔で公害の少ないまち (3.7)	住民同士が連帯感を持ったまち (2.9)
平成17年度	社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち (51.4)	緑と青空が広がる自然環境に恵まれたまち (17.8)	都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち (8.6)	清潔で公害の少ないまち (6.9)	産業が発展し、経済活動が盛んなまち (5.2)	清潔で公害の少ないまち / 住民同士が連帯感を持ったまち (3.9)	

<性別・性/年齢別・区別結果>

性別でみると、「社会福祉が進み、健康で安全に暮らせるまち」は女性が男性より10.5ポイント高くなっている。一方、「産業が発展し、経済活動が盛んなまち」は男性が女性より6.0ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「都市としてのいろいろな生活施設が整ったまち」は女性30歳未満と男女40～49歳で2割台と高くなっている。

